



今年もよろしくお願ひいたします。
3学期がはじまりました。

令和7年をどのように迎えられましたでしょうか。縁起の良い初夢は、一富士二鷹三茄子(いちふじにたかさんなすび)と言いますが、「富士=無事・鷹=高く・なすび=ことを成す」という縁起を担いだ語呂合わせからきているそうです。

さて、子どもたちは今年どんな夢や目標をもったのでしょうか。3学期は大変短い学期です。少ない日数の中ですが、一年のまとめをしっかりとし、来るべき次年度の備えをするときです。2学期の終業式で子どもたちに「2学期を振り返り、今の学年の最終進化をする3学期を迎えるためのエネルギーをしっかりと蓄えておいてください。」という話をしました。冬休みで蓄えたエネルギーを使い、夢や目標の実現に向かって時間を無駄にせず、こつこつと努力を続けることが大切だと思います。自分の考えを表現すること、苦手だったことに挑戦してみることに、忘れ物をせずきちんと持ち物をそろえて授業に臨むことなど、身近なことや小さなことでも良いと思いますので自分の目標や課題をしっかりともち、努力を続けて欲しいと思います。我々教職員もご家庭と一緒に子どもたちの成長を支えてまいります。本年もご支援、ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。

児童の活躍を紹介します 紹介したい活躍がありましたら学校にお知らせください。

大会等名称	種目	成績等	学年	名前等
令和6年度豊受地区子ども会上毛カルタ大会	個人の部	高学年 準優勝	6年	
令和6年度豊受地区子ども会上毛カルタ大会	団体の部 低学年 準優勝		4年	下道寺町 A
令和6年度豊受地区子ども会上毛カルタ大会	団体の部 高学年 優勝		5年 6年	上蓮町

ハゼノキは秋と冬のわたし船 4年 上毛ジュニア俳壇 令和6年12月掲載

【評】「わたし船」は細長いハゼノキの葉っぱからの連想でしょうか。ハゼノキの紅葉で季節の変わり目に気づきます。

手話教室の学び生かしたい 4年 上毛子ども新聞 週刊風っ子 扉を開く NIE 令和6年12月掲載

手話教室がありました。二人の先生がきてくれました。一人は耳が不自由な人で、もう一人は手話を通訳する人でした。二人が手話や耳が不自由な人の生活の方法を教えてくださいました。問題を出しながら、いろいろ説明してくれました。耳が不自由な人の生活が大変なことが分かりました。目覚まし時計やインターホンなどの音が聞こえないので、その音を「感じる」「見える」ように工夫した道具を見せてくれました。人の話が聞こえないということは、とてもつらくて、大変なんだと思いました。耳が不自由な人を見かけたら「ぜひ手話やジェスチャーなどであいさつしてください」と言っていたので、見かけたらあいさつしようと思います。これから手話教室で学んだことを生活の中で、生かしていこうと思います。

みんなの給食 4年 上毛ジュニア詩壇 令和6年12月掲

もぐ		ぼくらのきもちの調味料
もぐもぐもぐもぐ	じゅぎょうをがんばったあとのおにく	つくった人のやさしさの調味料
こくこくこくこく	いっぱいあたまをつかった後の	くうふくとはさいこうの調味料
おいしい	つめたいぎゅうにゅう	なんだってね
ああおいしいなあ	わたしのお気に入り	たしかにそうかも
おいしい	ぎゅうにゅうとココアパンを	グーキュルル
うんどうの後のみそしる	いっしょにたべること	お腹がなった
		もぐもぐもぐもぐ

【評】何かした後の食事のおいしさは格別。まさに「くうふくとはさいこうの調味料」。食べる音もおいしそうです。